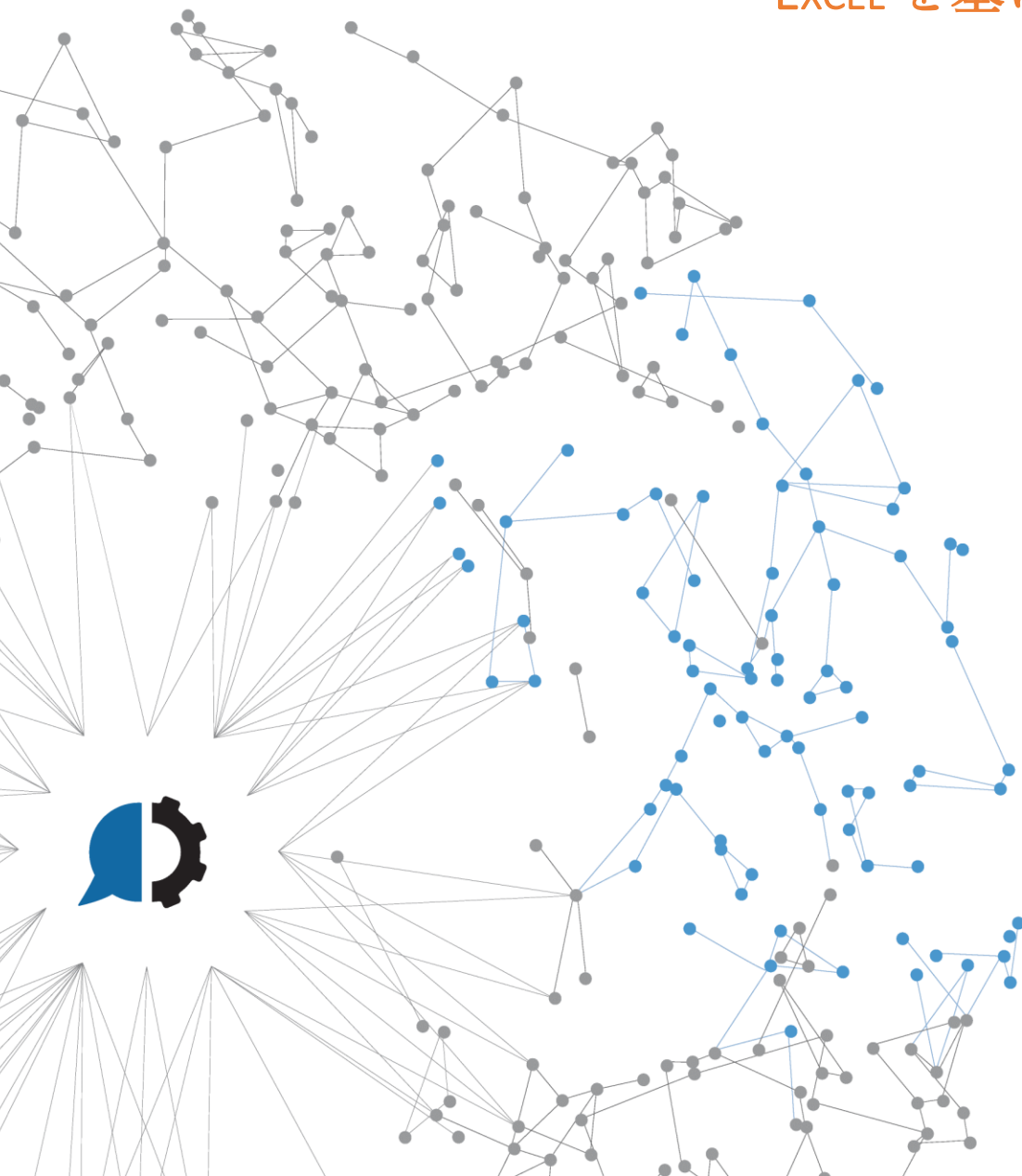




JIRA CLOUD BOT

EXCEL を基に ISSUE を作成





内容

概要	3
前提条件	4
AUTOMATE タスクをインポートする方法	6
INPUT ファイルの生成方法	7
JIRA CLOUD BOT - EXCEL を基に ISSUE を作成 を実行する方法	8
付録 A - エクセル出力と JIRA CLOUD 課題ビューの例	10
付録 B - トラブルシューティング	11



概要

この How to ガイドでは、**Jira Cloud Bot - Excel を基に Issue を作成**をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに、AutoMate に任せて、ロボティックプロセスオートメーションで IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate は手作業を代行することで、繰り返し作業を大幅に削減し、作業の品質と一貫性を向上させます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

Jira Cloud Bot - Excel を基に Issue を作成は、Jira Cloud REST API をベースにしています。“**Issue**”HTTP メソッドを実行して Jira Cloud に課題を作成し、その結果で入力 Excel ファイルを更新します。このボットは、ユーザー名とパスワードを使用しないように、Basic API Token 認証方式を使用しています。詳細については、「[前提条件](#)」と「[INPUT ファイルの生成方法](#)」のセクションを参照してください。



前提条件

- **AutoMate:** Jira Cloud bot が動作するためには、AutoMate ソフトウェアが必要です。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです。
 - [AutoMate Ultimate 11.2](#)
 - [AutoMate Plus 11.2](#)
 - [AutoMate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** Jira Cloud bot タスクのステップを含む、AutoMate で使用される主要なファイルタイプです。
- **Jira Cloud:** 必要となる最小要件は、以下の通りです。
 - **適切な権限を持つ Jira Cloud アカウント:** AutoMate ボットから Jira Cloud の課題を更新できるようにするには、新規アカウントを作成するか、**課題が属するプロジェクトの、プロジェクトおよび移行課題を参照する**ための適切な権限を持つ既存のアカウントを使用する必要があります。**課題レベルのセキュリティが設定されている場合、課題を閲覧するためには課題レベルのセキュリティ権限が必要です。**プロジェクトの権限を管理する方法については Jira Service Desk Cloud の [リンク](#) でさらに詳しい情報を得ることができます。管理者権限がない場合は、Jira Cloud 管理者に問い合わせることができます。
 - **Jira Cloud API トークン:** API トークンは、ボット実行のために割り当てられたユーザーアカウントに関連付けられます。割り当てられたアカウントでログインし、**アカウント設定 > セキュリティ > API トークン** メニューに移動すると、Jira Cloud で見つけることができます。そこで、新しいトークンを作成することができます。API トークンを生成する方法についての詳細情報は、この [Jira リンク](#) で確認できます。以下は、トークン生成の例です。



Your new API token

You can make HTTP basic authentication requests with your email address as the username and this API token as the password.

You will not be able to view this token again once you close this window, so be sure to record it securely.

[View](#)

[Copy to clipboard](#) [Close](#)

- [Jira Cloud API バージョン](#): このボットは、API バージョンの「最新」の識別子を使用して作成されています。つまり、常に最新のバージョンを実行することになります。
- [Jira Cloud の接続値を設定するために作成する AutoMate 定数](#):
 - [const_JiraCloudURL](#): ドメインの Jira Cloud の URL
 - 例: `https://SANDBOX.atlassian.net`
 - [const_JiraCloudApiToken](#): bot 操作のアカウントに関連付けられた Jira Cloud API トークン
 - [const_JiraCloudUser](#): bot 用のアカウントに関連付けられた Jira Cloud ユーザーメール

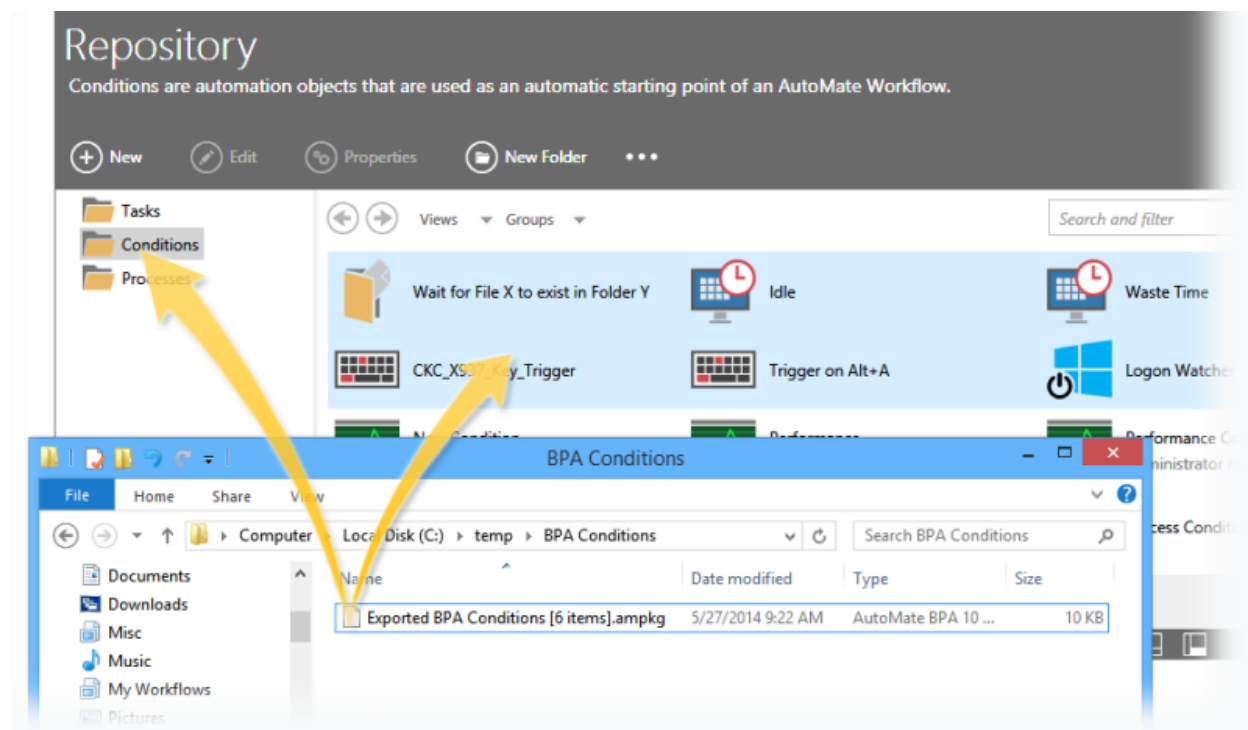


AUTOMATE タスクをインポートする方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでリポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソール(SMC)から、[リポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





INPUT ファイルの生成方法

Jira Cloud ボットに同梱されている入力ファイル「**Jira Cloud Create Issues INPUT.xlsx**」は、トランザクションの全項目を自動的に入力するための一覧表を提供します。

Jira Cloud Issue 作成画面:

Excel INPUT ファイル

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
Jira Service Desk Issue Fields								Result Details		
Project Key	Issue Type	Summary	Description	Priority	Label Only one is supported	Due Date Days from today (It can be Blank)	Assignee ID (It can be Blank)	Done?	Date	Issue Key, ID and URL / Result Message
								Yes/No		

注:

- **赤い項目**は必須です
- INPUT ファイルの I 列から K 列には、結果、Issue ID、Issue Key、および Issue URL が入力されます。結果の例については、[付録A](#)を参照してください。

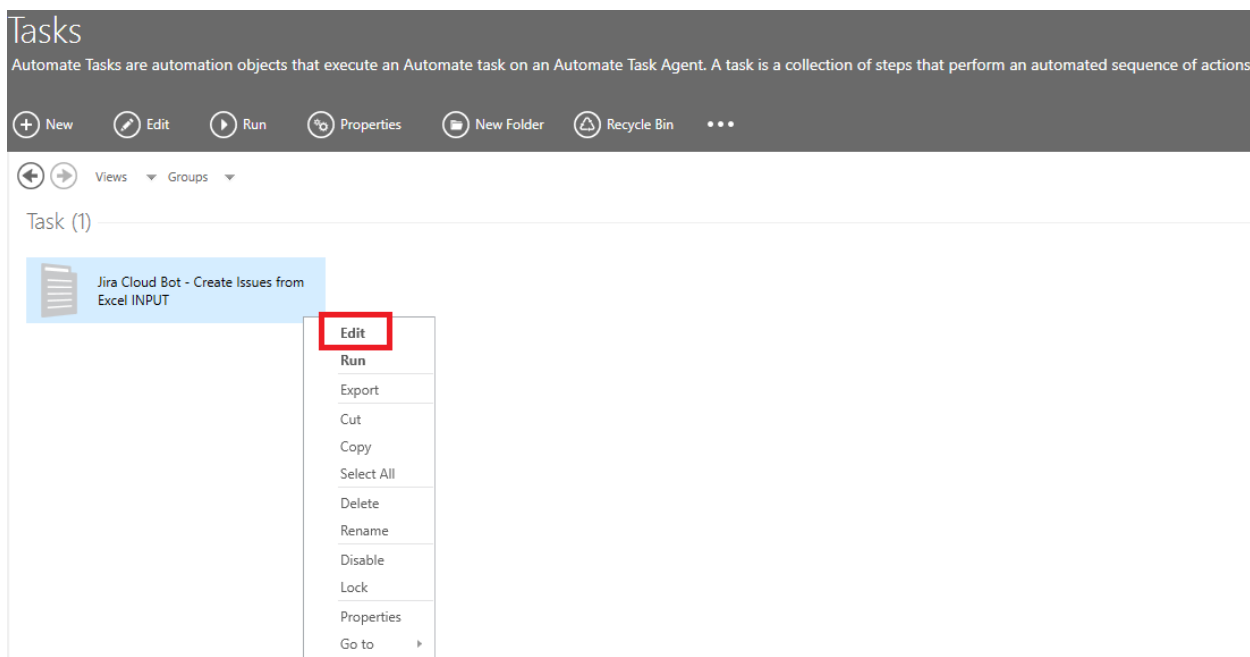


JIRA CLOUD BOT - EXCEL を基に ISSUE を作成 を実行する方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、編集を選択して編集します。



ステップ 2 からは、希望する出力に応じて次の変数を編集してください。

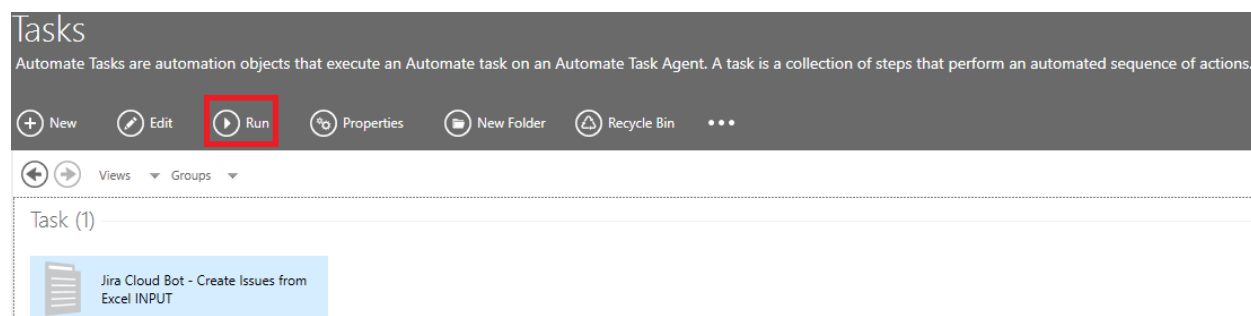
- **var_ExcelInputFile**: Jira Cloud Bot - Close Issues INPUT.xlsx の完全なパスとファイル名

例: **"D:\Automate\ Jira Cloud Create Issues INPUT.xlsx"**

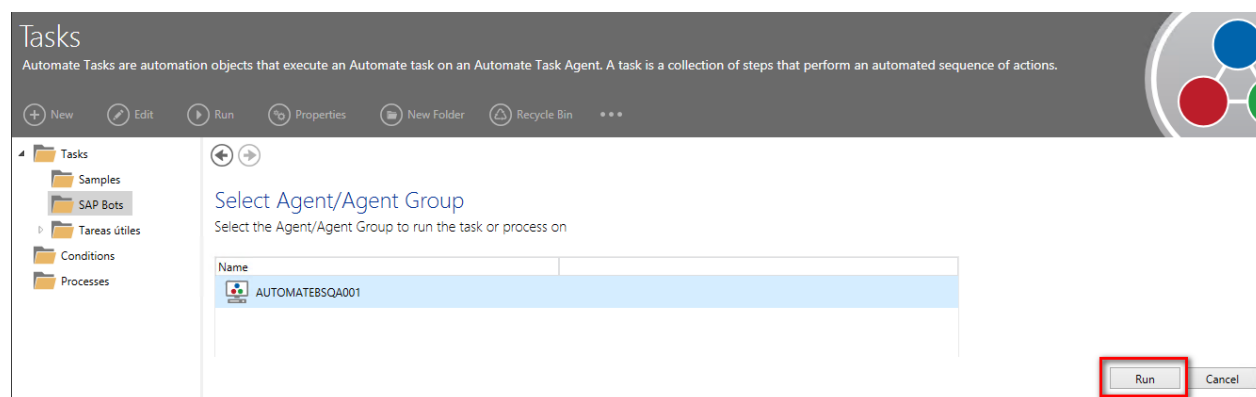
タスクを保存して閉じます。



タスクを選択し実行をクリックします。



Agent を選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A – エクセル出力と JIRA CLOUD 課題ビューの例

結果が入力された INPUT Excel ファイル:

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Jira Service Desk Issue Fields							
2	Project Key	Issue Type	Summary	Description	Priority	Label Only one is supported	Due Date Days from today (It can be Blank)	Assignee ID (It can be Blank)
3	AUT	10002	Automate issue 1	This issue was created by AutoMate	3	Question		
4	AUT	10005	Automate issue 2	This issue was created by AutoMate	4	Request	2	
5	AUT	10005	Automate issue 3	This issue was created by AutoMate	3	Incident	2	5ebae4496c84140b9eb4f807

I	J	K
Created?	Result Details	
Yes/No	Date	Issue Key, ID and URL / Result Message
YES	15/05/2020 4:00:01 PM	IssueKey: AUT-6, IssueID: 10005, IssueURL: https://hssandbox.atlassian.net/rest/api/latest/issue/10005.
YES	15/05/2020 4:00:03 PM	IssueKey: AUT-7, IssueID: 10006, IssueURL: https://hssandbox.atlassian.net/rest/api/latest/issue/10006.
YES	15/05/2020 4:00:05 PM	IssueKey: AUT-8, IssueID: 10007, IssueURL: https://hssandbox.atlassian.net/rest/api/latest/issue/10007.

K 列には、Jira Cloud で作成された課題(Issue)の Issue ID、Issue Key、Issue URL が書き込まれることに注意します。

Jira Cloud Issues（課題）ビュー結果:

Jira

Your work

Projects ▾

Filters ▾

Dashboards ▾

People

Apps ▾

Create

Automate

Classic software project

←

Back to project

Issues and filters

My open issues

Reported by me

All issues

Open issues

Projects / Automate

Open issues

Order by Priority ▾

✓

AUT-6

Automate issue 1

✗

AUT-8

Automate issue 3

✗

AUT-7

Automate issue 2



付録B - トラブルシューティング

- ログ: ボットの各反復は、トラブルシューティングのためにログファイルを作成します。ログファイルは、C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>の下にあります。デフォルトでは、タスク名は「*Jira Cloud Bot - Create Issues from Excel INPUT*」です。



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people